

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)

【公表番号】特表 2006-519472(P2006-519472A)
 【公表日】平成 18 年 8 月 24 日 (2006.8.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-033
 【出願番号】特願 2006-508802(P2006-508802)
 【国際特許分類】

H 0 1 R 13/46 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 13/46 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 2 月 14 日 (2007.2.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

前面、後面、4 つの側面、2 つ以上の第 1 接点 (64、66、74)、および 3 つ以上の第 2 接点 (76、68) を有する、通信分野における機能モジュール (14、114、324) であって、各第 1 接点 (64、66、74) は少なくとも 1 つの第 2 接点 (76、68) に接続され、上記接点 (64、68) は、少なくとも 1 つの接点モジュール (12、112、312) の第 1 (16) および第 2 接点 (70) に接続されるように適合され、この接点モジュールはワイヤをそれに接続するように適合した接点をさらに含み、そして上記機能モジュール (14、114、314) の上記第 1 (64) および上記第 2 接点 (68) と上記接点モジュール (12、112、312) の上記第 1 (16) および上記第 2 接点 (70) との間に電氣的接続を確立するように、上記接点モジュール (12、112、312) に嵌合可能である機能モジュール (14、114、314)。

【請求項 2】

上記第 1 接点 (64、66、74) が上記機能モジュール (14、114、314) の第 1 側面に配置され、上記第 2 接点 (76、68) が第 1 側面の反対側の第 2 側面に配置される、請求項 1 に記載の機能モジュール。

【請求項 3】

上記接点 (64、68) が フック形である、請求項 1 に記載の機能モジュール。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の少なくとも 1 つの機能モジュール (14、114、314) と、少なくとも 1 つの接点モジュール (12、112、312) と、を備える 通信モジュール (10、110、310)。

【請求項 5】

上記ワイヤガイド (20、22) が上記接点モジュール (12、112、312) に設けられる、請求項 1 に記載の 通信モジュール。

【請求項 6】

請求項 4 に記載の 2 つ以上の通信モジュール (10) の アセンブリ (200)。

【請求項 7】

上記 通信モジュール (10) が バス の手段を用いて接続される、請求項 6 に記載の アセンブリ。

【請求項 8】

1 つ以上の通信モジュール (1 0) に接続される制御モジュール (2 0 6) をさらに含む、請求項 6 に記載のアセンブリ。

【請求項 9】

通信モジュールを取付ける方法であって、

第 1 に、ワイヤを接続するように適合した接点を含む、少なくとも 1 つの接点モジュールを取付ける工程であって、この接点モジュールに請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の機能モジュールが嵌合可能である工程と、

第 2 に、機能モジュールの接点と接点モジュールの接点との間に電氣的接続を確立するように、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の少なくとも 1 つの機能モジュールを少なくとも 1 つの接点モジュールに嵌合させる工程と、
を含む方法。